

# 横浜市インフルエンザ流行情報 1 号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

トピックス

市内でインフルエンザの流行が見られています！

## 1 今シーズンの感染症発生動向調査におけるインフルエンザの患者発生状況

- 前シーズンは 18 週(4 月 27 日～の週)で定点あたり報告数が 1 未満となり流行が収まりましたが、今シーズンでは 32 週(8 月 3 日～)から流行の目安となる定点あたりの報告数 1 を越え、33 週(8 月 10 日～)では 1.90 と上昇しています。今後、この立ち上がり、例年ならば冬季に見られる大きな流行に拡大していくのか、一層の注意が必要です。
- 発熱外来を中止した 7 月 17 日以降は、新型インフルエンザも通常のインフルエンザに集計されています。7 月 16 日までに 1079 件の検体があり、うち 240 件が新型インフルエンザ swAH1 でした。今まで行った swAH1 の遺伝子解析では、すべてにアマンタジン耐性を示唆する遺伝子変異を認めましたが、オセルタミビル耐性を示唆する遺伝子変異は認められません。
- 過去 5 週分の年齢層別集計では、20 歳未満に多く感染が見られています。この 5 週分に行われた迅速キットでは、A 型が 438 件、B 型が 4 件、A 型 B 型とも陽性が 1 件で、ほとんどが A 型で、新型インフルエンザと思われます。
- 新型インフルエンザのクラスター(集団)報告は、7 月 24 日から 8 月 16 日の間に 20 件あり、確定患者・疑似症が 83 人です。集団の属性としては、保育園 5、中学校 9、大学 4、医療機関 1、その他 1 となっています。
- 学校での集団は夏季の部活動中心に見られており、今後、夏休みが終わって学校が始まる 9 月以降は、より多くの人数の接触が予想され、感染の急速な拡大の恐れがあります。
- 集団施設内感染防止や院内感染によるしくご高配ください。
- 学校、福祉施設、病院等集団施設で新型インフルエンザの集団感染が認められたら、最寄りの福祉保健センターにご相談下さい。

(1) 患者定点医療機関からの患者報告状況 図1【横浜市におけるインフルエンザ定点あたりの報告数】  
市内 145 か所(内小児科 88 か所)の医療機関が定点医療機関となっています。

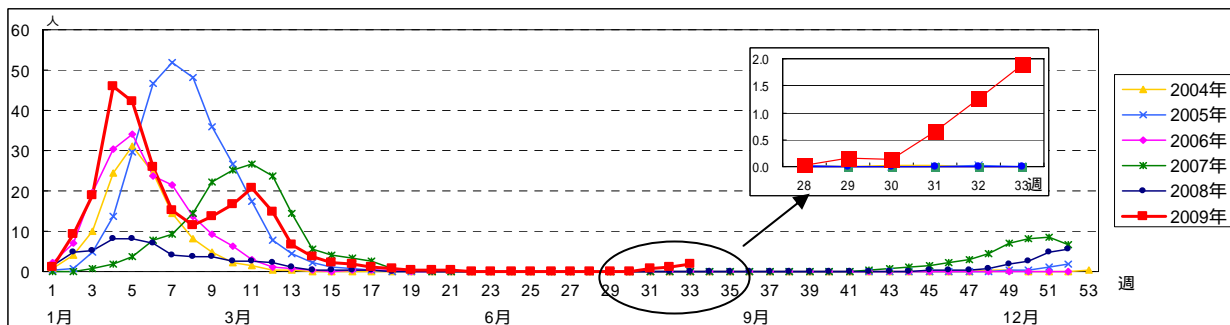


図2【年齢層別5週分集計】

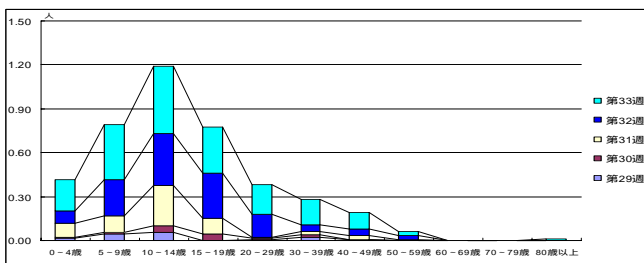
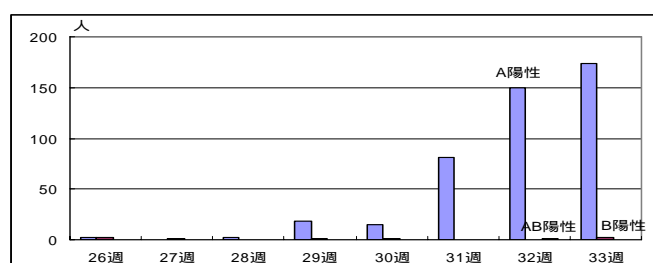


図3【迅速診断検査キットによる型別の判定】



市内の状況については、<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/surveillance/report.html> を  
全国の状況については、<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/> をご覧ください。

【お問い合わせ先】

横浜市健康福祉局健康安全課 TEL045(671)2463 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL045(754)9816